

## 財政健全化推進計画 構成（案）

## 1 基本方針

## (1) 明石市財政を取り巻く状況

- ・ 少子高齢化、人口減少
- ・ 市税収入の伸び悩み

## (2) これまでの取り組み

- ・ 人件費の削減
- ・ 民間活力の導入、給付事業や補助金の見直し、その他事務事業の見直し、一部施設の見直し、外郭団体等の見直し、歳入の確保

## (3) これまでの財政状況の推移

- ・ 扶助費の増加、投資的経費、人件費の抑制
- ・ 基金残高の減少
- ・ 他自治体との比較

## (4) 公共施設のマネジメント

- ・ 公共施設の大規模改修・建て替え費用の増大
- ・ 施設の総量縮減の必要性

## (5) 今後の財政推計

- ・ 現状のままでは遠からず基金が底をつく状況
- ・ 全施設を維持するならばさらなる収支不足

## (6) 計画の基本方針

- ・ こどもたちに元気な明石を引き継いでいくために、将来にわたって持続可能な財政構造の構築を
- ・ 計画期間は平成26年度から平成〇〇年度まで

## 2 目標

## (1) 収支均衡の実現

## (2) 基金残高〇〇億円を確保

## (3) その他（例）：〇年間で〇〇億円の収支改善

## 3 取り組み項目

※項目ごとに目標を設定するとともに、取り組み方針や主な内容を記載する。

## (1) 市役所内部の取り組み

目標（例）：平成〇〇年度までに正規職員数を〇〇名減

- ① 事務経費の削減
- ② 人件費の削減
- ③ 歳入の確保

## (2) 事務事業の見直し

目標（例）：事業費削減効果〇〇億円以上

## (3) 公有財産の有効活用

目標（例）：公共施設の施設総量〇〇%削減

- ① 未活用地の積極的活用
- ② 施設配置の適正化

## (4) 受益者負担の適正化

目標（例）：受益者負担の適正化により収入を〇〇億円増

## 4 取り組みの進め方

## (1) 市役所内部での検討

## (2) 市民、市議会との意見交換